

平成29年9月26日

国道325号阿蘇大橋復旧工事に関する県の考え方について (補足)

【はじめに】

- 県では、国道325号阿蘇大橋復旧工事に関する9月14日の新聞報道を受け、改めて事実関係を確認し、基本的な認識等を同日付け「知事コメント（国道325号阿蘇大橋復旧工事について）」として公表したところです。

- しかしながら、県内部で情報の共有が上手くなされなかったため、9月15日以降の新聞記事等に混乱が生じたので、改めて補足説明をさせていただきます。

【補足説明】

- ① 阿蘇大橋ルートが柱状節理を含む斜面を通ることについては、前述の9月14日付け「知事コメント」のとおり、県は国から説明を受けておりました。
しかしながら、県内部での情報共有が不十分であったことから、各所属での取材対応が統一的な認識に基づいてなされなかったため、結果として記事の内容にばらつきが生じたものと考えています。

- ② 熊本地震により、阿蘇ユネスコジオパークを構成する33のジオサイトの一つである、立野峡谷ジオサイトの柱状節理についても、一部斜面が崩落するなどの状況が見られます。
(参考：9月14日付け「知事コメント」添付写真)

- ③ 今回の復旧工事は、その崩落した斜面の中で、阿蘇大橋の整備に必要不可欠な橋脚を設置するものです。

白川の立野駅付近から黒川の^{すがるがたき}数鹿流ヶ滝までの河川延長は、約3.5^キ□ありますが、その間には柱状節理が広く分布しています。今回の工事は必要最小限のものであり、柱状節理の改変範囲は一部にとどまるものと認識しています。

【今後の対応等】

- 今回の復旧工事は、阿蘇地域の皆様の生活再建はもとより、県全体の観光・経済の再生にとっても必要不可欠なものでもあり、自然環境や景観にも最大限配慮しつつ、国としっかり連携しながら、早期完成に向けて努めて参ります。
- 併せて、県としては、県内部はもちろんのこと、阿蘇ジオパーク推進協議会と情報共有するなどしっかりと連携し、阿蘇ユネスコジオパークの更なる充実に向けて、推進協議会や地元市町村と取り組んで参ります。

【問合せ先】

- 熊本県 企画振興部 地域・文化振興局
文化企画・世界遺産推進課 牛島、宮田
TEL 096-333-2152
- 熊本県 土木部 道路都市局
道路整備課 菰田、三好
TEL 096-333-2499